

本市では、通院、通学や買い物などの日常生活を支える移動手段として、市民バス、住民バス、東和町米川地区のデマンド型乗合タクシーが運行しています。
公共交通は、日常生活において大切な移動手段であり、特に学生や高齢者など、自動車を運転できない人たちにとっては、なくてはならない存在です。

**増加する高齢者ドライバー
高まる公共交通の必要性**

全国的に高齢者の自動車免許保有率は年々増加。2018年の80歳以上の保有者数は227万人で、08年と比較すると約2.1倍になり、高齢者が関与する事故割合が増えています。市内においても、交通事故発生件数は減少していましたが、65歳以上の人の事故割合が増加。昨年は全事故数149件に対し、約30%を占めました。
近年、安全確認不足やアクセルとブレーキの踏み間違いなど、高齢者の交通事故に関する報道が相



市の公共交通について話し合う登米市地域公共交通会議は、市民や運送事業者などで構成。それぞれの立場から意見を出し合い、利便性の向上を目指して検討を重ねている

次いでいる中、運転に不安を感じて運転免許証を自主返納する人が増え、市でも支援しています。市民が安全に生活するためにも、公共交通の必要性が高まっています。

**高齢者運転免許証返納で
市民バス無料乗車券を交付**

市では運転免許を自主返納した人に、市民バスの1年間無料乗車券「あしがるくん」を交付しています。

【自主返納・あしがるくん交付の手順】

①警察署の窓口(公安委員会)で運転免許証を返納してください

※迫・中田・米山・石越・南方の人は佐沼警察署に、登米・東和・豊里・津山の人は登米警察署に返納してください(警察署から「申請による運転免許の取消通知書」が交付されます)

②各総合支所市民課で「登米市市民バス無料乗車券交付(再交付)申請書」に記入し、取消通知書の写しと証明写真1枚(縦4.5センチ×横3.5センチ以内)を提出してください。申請には認印が必要です
市民生活部市民生活課(市民総務係)
☎0220(58)2118

**増加する運行経費
地域公共交通再編計画を策定**

近年、市民バスの利用者数に大きな増減はありませんが、利用者のニーズに合わせるべく、路線や本数を増やしたことにより、市の負担額は増加傾向にあります。
そのような中、市は公共交通の見直しに着手。実態をあらためて把握するため、アンケート調査などを実施しました。調査結果を受け、登米市地域公共交通会議において検討を重ね、昨年12月に「登米市地域公共交通再編計画」を策定。利便性向上に向けた取り組みを進めました。

— 特集 —

みんなを支え、みんなで支える公共交通
地域をつなぐ

市民バスなどの公共交通機関は、私たちの生活を支える大切な移動手段です。
市では、より利便性を高めるため、路線の見直しや新設、デマンド型乗合タクシーの導入拡大など、公共交通の再編を進めています。

